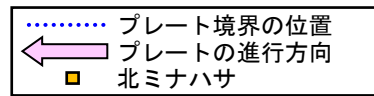
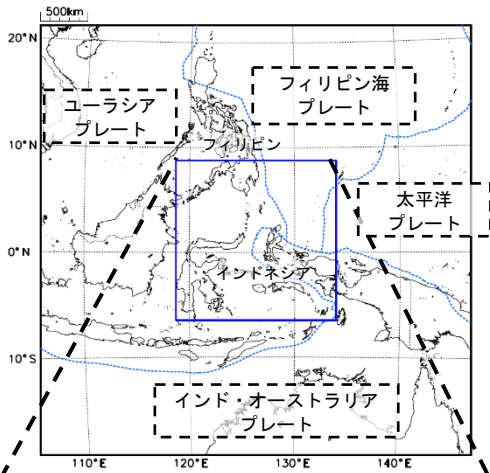


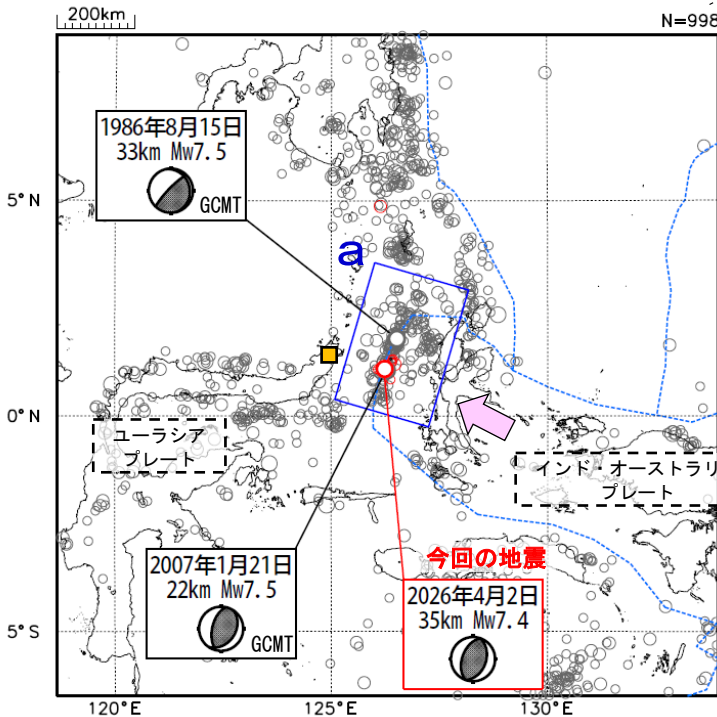
4 月 2 日 モルッカ海北部の地震

2026 年 4 月 2 日 07 時 48 分（日本時間、以下同じ）にモルッカ海北部の深さ 35km で Mw7.4（Mw は気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。気象庁はこの地震に対して、同日 08 時 19 分に遠地地震に関する情報（日本沿岸で若干の海面変動あり）を発表した。この地震により、北ミナハサ（インドネシア）で 0.75m などの津波を観測した。今回の地震により、死者 1 人、負傷者 1 人などの被害が生じた。

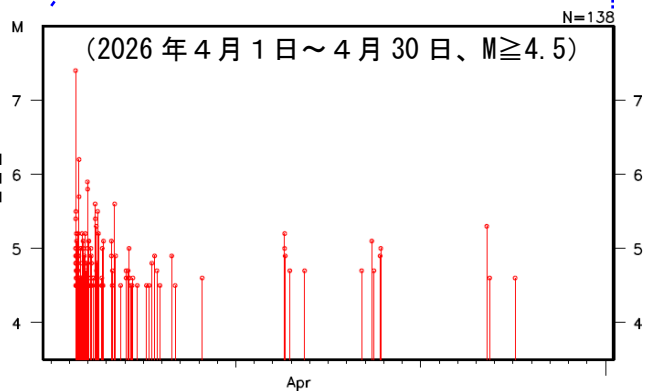
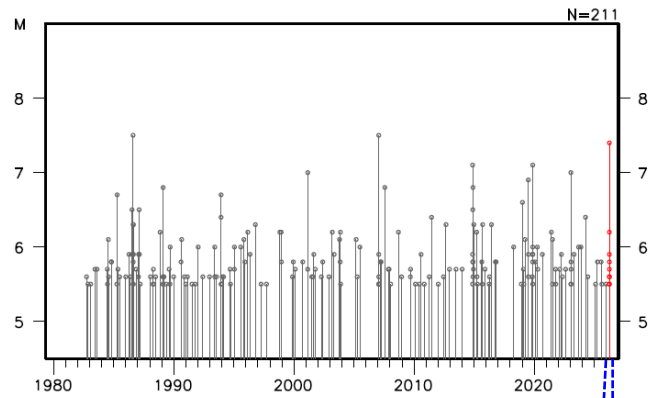
1980 年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域 a）では M7.0 以上の地震が時々発生している。2007 年 1 月 21 日には Mw7.5（Global CMT による）の地震が発生し、死者 3 人、負傷者 4 人などの被害が生じた。



震央分布図
（1980 年 1 月 1 日～2026 年 4 月 30 日、
深さ 0～200km、 $M \geq 5.5$ ）
2026 年 4 月の地震を赤色で表示



領域 a 内の M-T 図



※震源要素は、米国地質調査所 (USGS) による (2026 年 5 月 1 日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及び Mw は、2026 年 4 月 2 日の地震は気象庁による、それ以外の地震は Global CMT による。津波の高さは米国海洋大気庁 (NOAA) による (2026 年 5 月 1 日現在)。今回地震の被害は、OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2026 年 5 月 1 日現在)、その他の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置とプレートの進行方向は Bird (2003)^{*1} より引用。

^{*1} 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4 (3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.